

第1号

平成22年6月1日発行

地域医療連携室だより

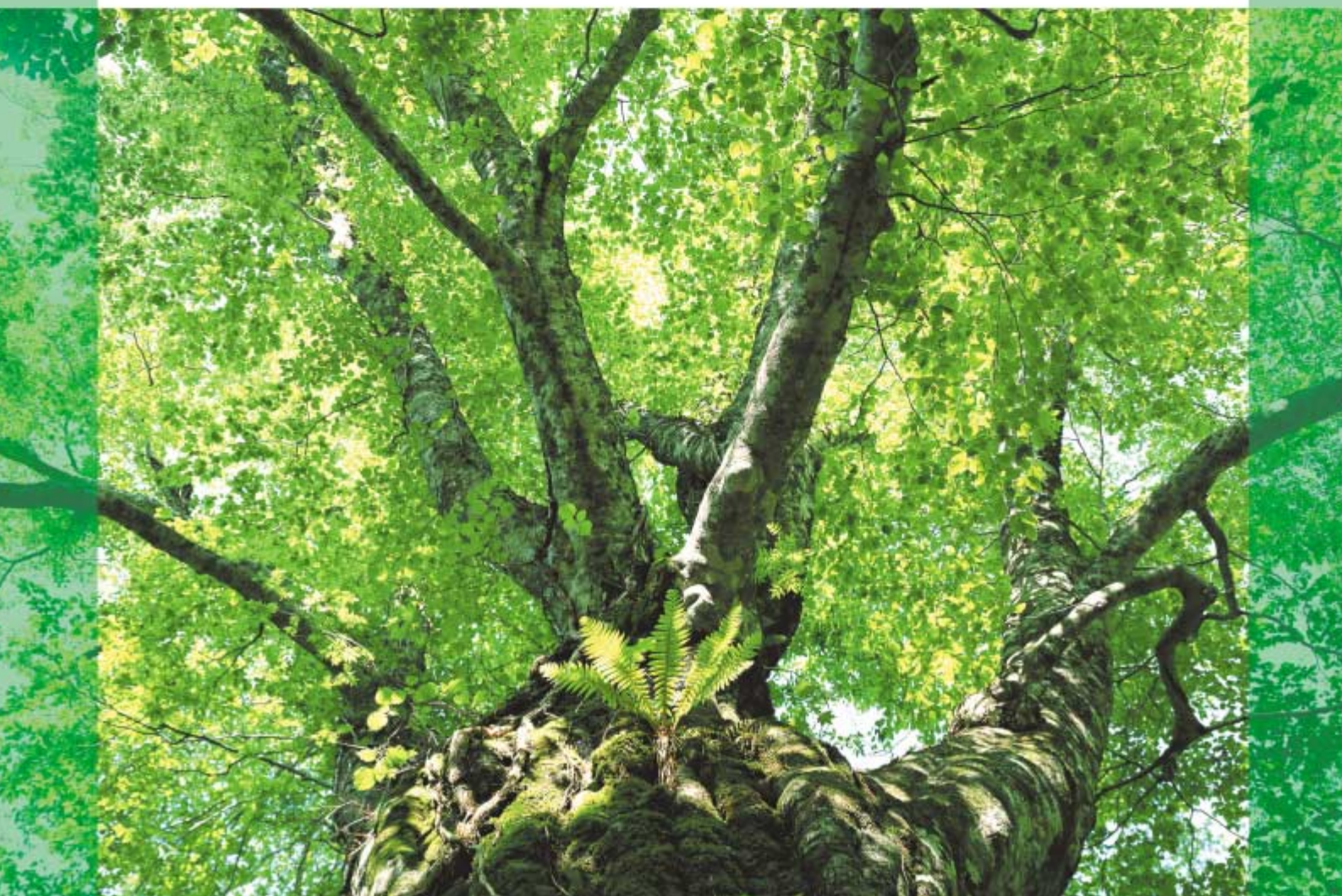
山本組合総合病院 地域医療連携室

〒016-0014 能代市落合字上前田地内

TEL 0185-54-8893

FAX 0185-54-8893

<http://yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp>





昨年秋から冬にかけて猛威をふるったいわゆる新型インフルエンザもすっかり話題に上らなくなりましたが、医師会と能代市の協力のもとに発熱外来を当院に近接した場所に開設していただき、通常の救急業務を滞りなくできましたことは医師会の先生方に大変感謝しております。

さて、患者さんの負担の軽減あるいは地域ぐるみで最新医療を実践するためには地域の先生方と連携し医療を行っていくことが重要とされています。当院は平成20年2月に地域がん診療拠点病院として承認されがん治療センターを開設、緩和ケアセンター、外来化学療法室、がん相談支援センター、放射線療法室、内視鏡室等々の充実に力を入れてまいりました。現在秋田大学および秋田県医療局を中心に5大が

ん（肺、肝、胃、大腸、乳腺）の地域連携パスを作成中であり、本院からも委員を出しております。今後この連携パスを用いてがんの医療を地域が連携した形で進めていくものと考えられ、ますます地域の先生方との密接な連携が重要となっております。当院では地域連携室を充実させ患者さんの紹介やMRI・CT等の検査の申し込みを簡略に行えるように体制を整えている最中であり、これまで地域の先生方にはいろいろ御不便をおかけしているとは思いますが、改善していきたいと思っておりますのでご意見あるいはご提案を頂ければ幸いです。不定期的ではありますが、がん治療センターでは医療関係者を対象にした“能代・山本がんセミナー”を開催しておりますので参加していただければと思います。また、がんの診断・治療等に関することで是非講演をお聞きしたい先生がいらっしゃいましたら地域連携室あるいは保健活動室にご一報いただければと思います。

当院には能代・山本地域はもちろんのことですが、広く秋田県北部から青森県南西部の患者さんが来院しております。その中には当院に通うには非常な不便な地域から通っている患者さん、お年寄りの患者さんが多いためもありますがお一人で通うことは困難で送り迎えが必要な患者さんなどが多数おられます。また、当院外来が混雑しているため待合時間等かなり患者さんにご負担をかける事もあり、患者さんにご迷惑をかけないように努力をしておりますが、残念ながら十分な対応をできないのも事実であります。こうした問題点を解決するため、落ち着いた患者さんで定期的な外来通院で治療が可能な場合は、患者さんの近くにある医院をご紹介するよう病院として努めて参りたいと考えております。つきましては地域の先生方にはご負担をかけることになるとは思いますが、宜しくお願ひしたいと存じます。特に複数科受診している患者さんでは各科の処方をもとに一本化して一つの医院に願ひする方向でいきたいと考えております。ご専門でない疾患についてのご処方も願ひすることにもなりますが、患者さんについてのご質問等については担当科が誠意を持って対応するようにいたしますし、患者さんの状態が悪くなった場合については地域連携室にご連絡いただければ速やかに当院で受け入れる体制を整えつつあります。今後の予定といたしましてはご紹介いただいた患者さんを地域の先生方と一緒に診断・治療可能な開放型病棟も新設する予定ですのでご協力のほどよろしく願ひいたします。

地域医療連携室室長あいさつ

佐藤 毅



日本の医療体制の変化に伴い、病院と診療所の機能分化の重要性が認識され、より効率的な医療を行うために、地域医療連携が重要になってきています。

地域医療連携の必要性から、平成18年8月に山本地域医療連携室が立ち上がり、活動をしてきました。

現在までのところ、紹介医からの患者さん診察予約や予約患者さんの受診時のお手伝い、紹介および逆紹介患者さんのデータ管理、紹介患者さんについての紹介医への返信の管理、他院へのまた他院からの診療情報提供の管理などが主たる業務になっています。

しかし、患者さんの予約診療の割合はまだまだ低い状態で推移しており、地域の診療所の先生方に予約診察が浸透しているとは言えない状況です。また、他の活動もまだまだ十分と言える状況ではありません。今後さらに地域連携を強めていくために、地域の診療所からの患者さんの紹介や逆紹介がやりやすいような体制作り、紹介患者さんの経過について、当院スタッフと紹介医との間でのカンファレンスなどの開催、福祉・介護施設などとの連携の取り組みなどを計っていかねばならないと考えています。課題も多いのですが、着実に前進して地域連携をさらに強化し、地域医療の向上に努めていかねばならないと考えています。

緩和ケアセンター長

江戸 雅孝



昨年6月より当院の緩和ケアセンター長を務めております。

ゼロから始まった当院の緩和ケアチームでしたが、紆余曲折を経ながらも、活動を開始し丸3年が経ち6月からは4年目を迎えます。皆さんの協力もありコンサルテーションも徐々に増えてきました。今までに緩和ケアの基本の普及、教育に力を注いできましたが、これからは緩和ケアの実践、発展、向上が重要な課題であります。今のところ活動は入院患者と当院に通院している患者さんに限られていますが、今後は在宅医療の中での緩和ケア、あるいは在宅での看取りも含め、地域での取り組む緩和ケアという意識が必要になってくるでしょう。そのためには病院、診療所、医院それぞれに所属する医師同士が、お互いの顔が見え、立場を理解しあえる本当

の意味での情報交換や情報共有の場を持ちたいと考えています。地域連携室はその役割を担うための役割を果たす部署として期待しています。

在宅での緩和ケアは、医療のみならず介護や福祉関係、行政をも含めた多く職種、スタッフの連携、協力が必要です。また地域住民への緩和ケアに関する情報提供、啓発活動も大切です。当院では院内での定期的な勉強会を開催するほかに、地域の医療従事者（コメディカルスタッフも含む）を対象とした緩和ケア研修会、がん医療におけるコミュニケーションスキル研修会をそれぞれ年1回、一般市民を対象とした市民公開講座を年2回、開催しております。また能代山本緩和ケア研究会を後援し、年2回の開催を通じて、多くの方々に、緩和ケアの話題に触れる機会を提供しています。今年度は在宅緩和ケアに関する企画も進めていきます。緩和ケアの意識が多くの方に浸透するようお願い、今後も活動を続けてまいります。よろしくお願いたします。

地域医療連携室の紹介

地域医療連携室のスタッフを紹介します。

室長 佐藤毅（診療部長）、担当者 野村優子（看護副部長・2月より）、檜森初美（事務員）の二人で前方連携として予約患者さんのお手伝い紹介・及び返書の管理、データ管理等を行っております。

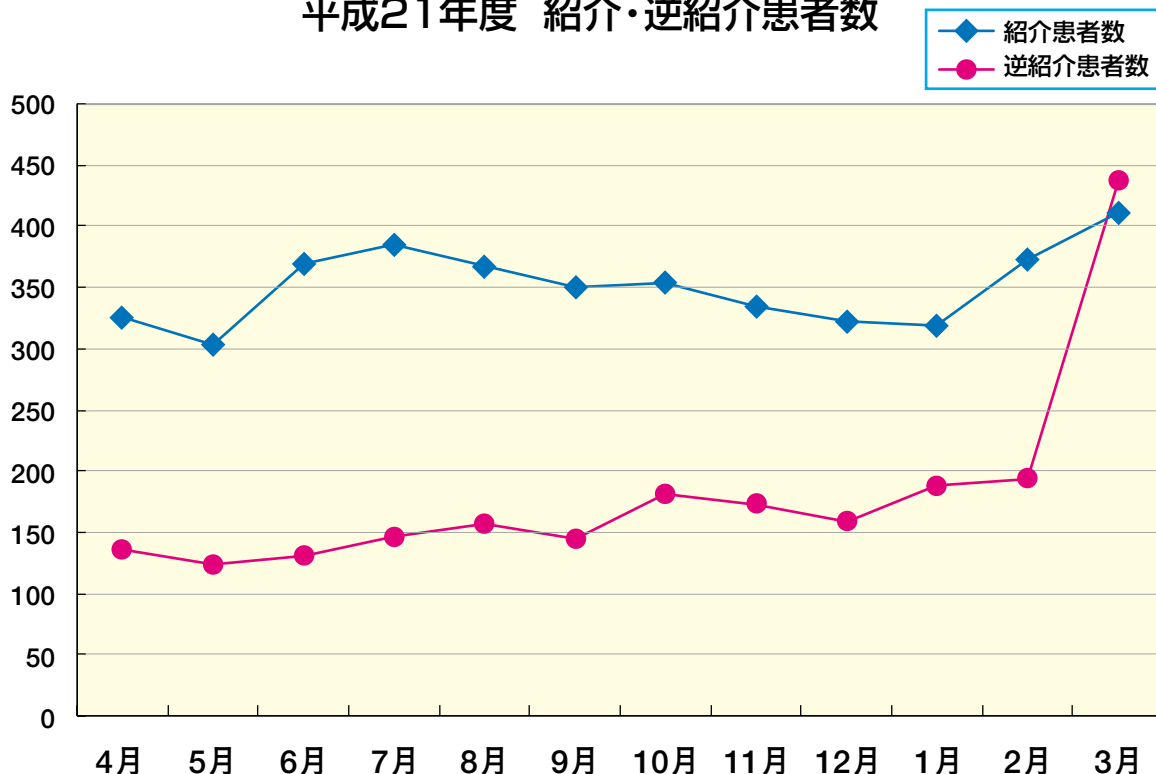
当室には、院内連携・後方連携として、医療相談員の菊地真人（係長）、退院調整、ベットコントロールの齊藤泰子（看護副部長・2月より）の四人で業務にあたっており、安心してご利用いただけるよう発展させていきたいと考えております。

当室の目標は、“患者中心の医療が円滑に遂行できるよう、患者及び家族・地域医療機関・当院スタッフ間の総理解を深め、各々の業務の連携を図る”を掲げ当室と地域の皆さんとの連携を大切に頑張っています。

よろしくお願ひします。



平成21年度 紹介・逆紹介患者数



1年間の紹介・逆紹介患者数の推移です。

3月に急激に逆紹介患者数が増えています。地域の皆さん・先生方には大変ご不便おかけしています。4月30日付けで眼科医が退職し、グラフのような結果になりました。

紹介患者数は少しずつではありますが増えております。ただ地域医療連携室を利用しない例もあります。患者さんの待ち時間が少なく「優先的な受診を」という思いでおります。迅速に対応できるようにしていきたいと思っております。地域医療連携室のご利用をお待ちしております。

地域医療連携室からのお願い

ご紹介いただく先生方へ

当院へのご紹介の際は、**地域医療連携室**をご利用下さい。

患者様の情報『紹介患者用 外来診療申込書』をFAXにて頂き、

『外来受診予約票』をFAXにて返信します。

送信された『外来受診予約票』を、患者さんにお渡しして下さい。

あらかじめカルテを準備して、患者様の来院日にはお待たせすることなく、受診される診療科へご案内します。

<診療の予約は、新患の方とさせていただきます。>

※ご不明な点がございましたら、お電話下さい。

【依頼検査】

CT、MRI、RI検査については、直接放射線科への予約申込となります。
当院の伝票または紹介状を新患受付までご持参させて下さい。

放射線科 TEL 0185-52-3111 (内線1300)



お知らせ

能代山本地域緩和ケア研修会2010開催

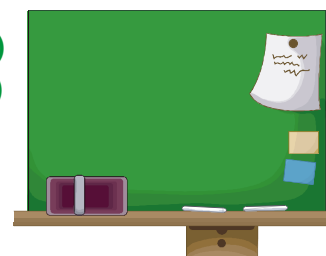
昨年も開催しておりますが、「能代山本地域緩和ケア研修会」を開催いたします。この研修会は厚労省通知による、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠しているものであり、修了者には、医師は厚生労働大臣より、コメディカルスタッフは秋田県知事より修了証書が交付されます。がん医療に携わり、医療用麻薬を処方する機会のある医師は、この研修会を受けることががん対策基本法で義務付けられております。詳細、申し込みにつきましては後日またお知らせいたします。

研修日時

セッションA 平成22年10月24日(日)
セッションB 平成22年10月31日(日)
(両日受講して修了となります)

研修場所

山本組合総合病院



| 診 療 科 | | 開 始 時 間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|-------------|-------|-------------|-----------------------------|------------------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------|
| 消 化 器 科 | 一 診 | 9:00 | 畠 山 昇 | 畠 山 昇 | 畠 山 昇 | 畠 山 昇 | 畠 山 昇 | |
| | 二 診 | | 藤 島 裕 耕 | 松 田 望 | 後藤 尚 (糖尿病) | 藤 島 裕 耕 (予約) | 高橋裕也 | |
| 内 科 | | 9:00 | 波多野 善 明 | 三 木 一 伸 | 小松田 敦 (大学) または 富 樫 賢 | 波多野 善 明 | 三 木 一 伸 | |
| 外 科 | 一 診 | 9:00 | 飯 島 信 | 大 山 健 一 | 大 山 健 一 | 飯 島 信 | 大 山 健 一 | |
| | 二 診 | | 鷗 木 和 久 大 山 健 一 (~10:00) | 鷗 木 和 久 | 飯 島 信 | 鷗 木 和 久 大 山 健 一 (~10:00) | 鷗 木 和 久 | |
| 脳 神 経 外 科 | 一 診 | 9:00 | 太 田 原 康 成 | 太 田 原 康 成 | 太 田 原 康 成 (10:00まで) | 太 田 原 康 成 | 太 田 原 康 成 (10:00まで) | |
| | 二 診 | | 小守林 靖 一 (10:00まで) | 小守林 靖 一 | 小守林 靖 一 (10:00まで) | 小守林 靖 一 (10:00まで) | | |
| 神 経 内 科 | | 9:00 | — | 金 正 門 (岩手医科大) | — | — | — | |
| 呼 吸 器 科 | | 9:00 | 金 田 浩 人 | 杉 山 直 幸 | 高橋 知親 (第1・3) 金田浩人 (第2・4・5) | 杉 山 直 幸 | 金田浩人 (第1・5) 杉山直幸 (第2・3・4) | |
| 小 児 科 | 一 診 | 9:00 | 田村 啓成 (大学) | 上 村 直 哉 | 上 村 直 哉 | 上 村 直 哉 | 上 村 直 哉 | |
| | 二 診 | | 吉 田 秀 一 郎 | 吉 田 秀 一 郎 | 吉 田 秀 一 郎 | 吉 田 秀 一 郎 | 小 熊 玲 奈 (大学) | |
| | 午 後 | 13:30 | 乳 児 検 診 | 予 防 接 種 | — | 予 防 接 種 | — | |
| 整 形 外 科 | 一 診 | 9:00 | 佐 藤 毅 | 三 浦 利 哉 | 佐 藤 毅 | 三 浦 利 哉 | 佐 藤 毅 | |
| | 二 診 | | 安 藤 滋 | 安 藤 滋 | 久保田 均 | 久保田 均 | 伊 藤 博 紀 | |
| | 三 診 | 11:00 | 伊 藤 博 紀 | — | — | — | — | |
| 循 環 器 科 | 一 診 | 9:00 | 庄 司 亮 | 木 曾 博 典 | 庄 司 亮 | 庄 司 亮 | 庄 司 亮 | |
| | 二 診 | | 菊 地 次 郎 | 小 熊 康 教 | 小 熊 康 教 | 菊 地 次 郎 | 小 熊 康 教 | |
| | 三 診 | 9:30 | 高 橋 陽 一 郎 | 野 堀 潔 (大学) | 石 田 大 (大学) | 細 谷 知 樹 | 野 堀 潔 (大学) | |
| 産 婦 人 科 | 婦 人 科 | 一 診 | 9:00 | 柴 田 悟 史 | 松 井 俊 彦 | 柴 田 悟 史 | 能 登 彩 | 松 井 俊 彦 |
| | | 二 診 | 9:30 | 松 井 俊 彦 | 久 保 真 一 | 能 登 彩 | 久 保 真 一 | 柴 田 悟 史 |
| | 産 科 | | 9:00 | 久 保 真 一 | 能 登 彩 | 松 井 俊 彦 | 柴 田 悟 史 | 能 登 彩 |
| 精 神 科 | 一 診 | 9:00 | 野 澤 宏 二 | 齋 藤 英 知 | 齋 藤 英 知 | 齋 藤 英 知 | 野 澤 宏 二 | |
| | 二 診 | | 山 田 篤 | 野 澤 宏 二 | 山 田 篤 | 利 川 嘉 明 | 利 川 嘉 明 | |
| | 三 診 | | 利 川 嘉 明 | 山 田 篤 | 草 薙 宏 明 (大学) | — | 伊 東 若 子 (大学) | |
| 泌 尿 器 科 | | 9:00 | 近 田 龍 一 郎 | 野 澤 立 | 大 澤 泰 介 | 近 田 龍 一 郎 | 野 澤 立 | |
| 皮 膚 科 | | 9:00 | 矢 島 晴 美 | 矢 島 晴 美 | 矢 島 晴 美 | 大 学 | 矢 島 晴 美 | |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 一 診 | 9:00 | 江 戸 雅 孝 | 江 戸 雅 孝 | 江 戸 雅 孝 | 江 戸 雅 孝 | 江 戸 雅 孝 | |
| | 二 診 | | 三 原 国 昭 | 三 原 国 昭 | 三 原 国 昭 | 三 原 国 昭 | 三 原 国 昭 | |
| 形 成 外 科 | | | 大 学 11:30~ | — | — | — | 大 学 9:00~ | |
| 心 臓 血 管 外 科 | | 第1・第3のみ | — | 大 学 13:00~ | 大 学 9:00~ | — | — | |
| 緩 和 ケ ア 外 来 | | 14:00~16:00 | | | 緩 和 ケ ア チーム | | | |